

ギャンブル障害 標準的治療プログラム

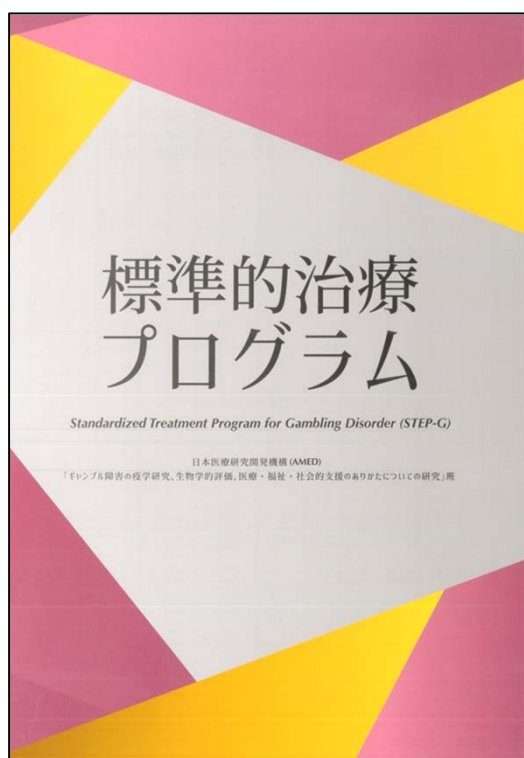
ーワークブックを使ったギャンブル依存症の認知行動療法を始めますー

○当院でのギャンブル依存症の治療経験

当院でのギャンブル依存症の治療は2007年から始まりました。当時まだ徳島にはGA（ギャンブラーズ・アノニマス、ギャンブル依存症の自助グループ）がなかったため、2009年から当院でギャンブルミーティングを始めました。そこに集まるメンバーが県外のGAに参加するなかで2010年1月に徳島GAが誕生しました。そのころからギャンブル問題の相談件数が増えていきました。GAは今年結成10周年を迎えました。2011年12月にはこれまでやっていたアルコール依存症家族勉強会を依存症家族勉強会に名前を改め、全ての依存症に悩む家族を対象にしました。現在170回を越えました。2012年からは年1回「ギャンブル問題を考える市民公開講座」を開催し、広く社会に対する啓発活動も始めました。これまでの相談件数は今年500件を越えました。

○当院でのギャンブル依存症治療について

2007年から当院では治療を始めましたが、当時はギャンブル依存症そのものについて社会的にも専門的にも蓄積した情報がありませんでした。治療法については手探りで始め、試行錯誤の中で治療の骨格が出来、次第に肉付けしてきました。効果的な治療かどうかをギャンブルが止まり、長期間止め続けることができているかでチェックしてきました。現在の当院での治療の柱は①本人の治療（診察の継続、行動を修正する計画と実行、GAに通うなど）、②家族や協力者と協働してギャンブルできない環境を構築する、③家族へのサポートです。詳細は当院HPに資料があります。



第1回

あなたにとってのギャンブルとは？

第2回

ギャンブルの「引き金」について

第3回

引き金への対処とギャンブルへの渴望

第4回

生活の再建・代替行動

第5回

考え方のクセ

第6回

まとめ

○認知行動療法を治療オプションに加えます。

当院では2013年から物質使用障害の治療にスマープ（SMARRP；当院では“あいマップ”と呼んでいます）を取り入れてきました。この度、久里浜医療センターを中心にギャンブル依存症の標準的治療プログラムが作成され、これを使った認知行動療法を始めることにしました。これまでの当院でのギャンブル依存症の治療に新たにこのプログラムが加わることで、さらに幅広いサポートができればと考えています。

当院では基本的にマンツーマンで対応します。アディクションに詳しいスタッフが一人ついて、このプログラムを使ってギャンブル依存症からの回復を目指します。全6回のプログラムです。プログラム希望の方はまず当院の依存症専門医の診察を受けていただくこととなります。

お問い合わせ：088-694-5151 藍里病院 アディクション委員会